



にじ

初期臨床研修を終えて
～研修を終えた感想と今後の抱負～

..... P2~3

放射線診療部新型CT(SOMATOM Drive)導入のご案内 . . . P4~5

第47回 中国四国甲状腺外科研究会を開催して P6~7

高知医療センター イベント情報 P8

4

APRIL2019 Vol.162



3月15日(金) 平成29年度採用 初期臨床研修医 研修修了式にて

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —

初期臨床研修を終えて

～研修を終えた感想と今後の抱負～

初期臨床研修を修了される11名(医科10名、歯科1名)の先生方、厳しい研修の日々を立派に乗り越えられ、本当によく頑張ってお勉強をされたと思います。大変お疲れさまでした。そして「修了認定」おめでとうございます。さあ、これからは各自が選択された専門診療科の道での新たな専攻科研修のスタートです。先生方皆さんが“*For the Patients!*”の精神を決して忘れることなく、各々の道を極め、益々大きく発展されることを確信しています。高知医療センターで学んだ多くのことを活かしてこれからも是非頑張ってお活躍ください。

【臨床研修管理センター長 澤田 努】



高知県の皆さんのおかげで伸び伸びと成長できました。2年前医師国家試験を終えた後、自分の医師人生は360°どこにでも歩き出せるまっさらなものでした。高知県だからこそ可能な地域のつながりの元で研修することで、人として患者さんに接し、困り事を気軽に相談できる身近な存在であり続けようと心から思うことができました。私自身患者さんに様々ご迷惑をおかけしましたが、その経験を糧に良医を目指します。2年間ありがとうございました。地域の皆さま、今後とも初期研修医をよろしくお願ひいたします。



2年間本当にお世話になりました。指導して下さった各科の先生、コメディカルの方々のおかげで、充実した研修生活を送ることができました。この経験を無駄にすることなく、少しでも早く一人前の医師になれるよう努力をしていきたいと思っています。研修に関わって下さった数多くのスタッフの方へ心から感謝しています。最後になりますが、初期研修先に高知医療センターを選択して本当に良かったと思える2年間でした。本当にありがとうございました。



指導医の先生方やコメディカルの方々に温かいご指導をいただき、充実した研修生活を送ることができました。あっという間の2年間でしたが、当院で学んだことを糧としてこれからも精進してまいります。

今後は高知県内のへき地で内科医として勤務する予定です。高知県の地域医療に貢献できるよう、より一層努力いたします。お世話になりました皆さま方、本当にありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。



2年間大変お世話になりました。長いようであっという間の初期研修でしたが、研修した診療科の先生方はもとより、それ以外でも教えをいただきました先生方、スタッフの方々のおかげで充実した研修期間を送ることができました。4月からはまた新天地で働くこととなりますが、医療センターでの経験を糧に、これからは医師としてだけでなく、一人の人間として成長していけるよう努力していきたいと思ひます。今後とも何かの機会に皆さまと関わらせていただく事があるかと思ひますが、その際はどうぞよろしくお願ひいたします。最後になりましたが、皆さまのおかげでかけがえのない研修医生活を送ることができました。本当にありがとうございました。



2年間大変お世話になりました。多くの先生方やスタッフの皆さまにお世話になり、2年間の研修を終えることができました。多くのことを経験させていただき、とても充実した研修でした。
4月から引き続き、当院の麻酔科で後期研修をさせていただきます。初心を忘れずに日々勉強しながら、一生懸命頑張ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



たくさんの方々に支えられ、2年間の初期研修を無事終えることができましたことに、心から感謝の気持ちでいっぱいです。この2年間で色々な経験をし、達成感や喜び、そして多くの臨床経験を積むことができ、とても充実した2年間だったと感じています。
来年度からは県外で働くこととなりますが、この2年間で学んだことを活かしながら新天地で頑張っていこうと思います。最後になりましたが、今までご指導してくださった先生方、スタッフの皆さま、本当にありがとうございました。



2年間大変お世話になりました。先生方やコメディカルの皆さまのご支援のおかげで、初期臨床研修を乗り切ることができました。高知医療センターで研修ができ本当に良かったと、感謝しております。
4月からは高知大学第二内科に所属することとなりますが、医療センターでの研修を活かして研鑽を積みしたいと思います。
2年間、本当にありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



2年間様々な診療科で研修させていただき、とても充実した2年間でした。ご指導してくださった先生方、コメディカルの皆さま、お忙しい中ありがとうございました。
来年度からは引き続き高知医療センターの麻酔科で研修をさせていただきます。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、今後ともご指導のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。



2年間、大変お世話になりました。各科の先生方、看護師さんなど多くの医療スタッフの方々のご指導により、充実した初期研修2年間を終えました。至らない点が多く、ご迷惑をおかけしましたが、多くの方々からのご指導により、少しずつ成長できました。
4月からは県外で働くこととなりますが、高知医療センターで学んだことを活かして頑張りたいと思います。2年間、本当にありがとうございました。



どの科でも先生方やコメディカルの方々にたくさんご指導いただき、学ぶことが多く充実した初期研修になりました。
4月から引き続き高知医療センターの産婦人科で研修させていただきます。1日も早く高知の医療に貢献できるよう、努力してまいります。
2年間ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



2年間ご指導いただきありがとうございました。
歯科口腔外科での研修だけでなく、医科研修にも参加させていただき、貴重な経験を得ることができました。
医科と歯科の、両者の立場で研修できたことで、幅広い視野が持て、医療人としての常識を培うことができたと感じています。この研修で学んだ事を活かして、今後とも安心・安全な医療を提供できるよう努力してまいります。

放射線診療部新型 CT 導入のご案内

放射線療法科 科長 秦 康博
放射線診断部 科長 岡林 宏

平成31年3月に現在使用している3台の診断用CT(コンピューター断層撮影装置)の中の一を更新することとなりました。新しいCTはドイツシーメンス社製のSOMATOM Drive(ゾマトム ドライブ)と呼ばれるDual Energy撮影機能を持ったCTです。

今までのCTと大きく変わる点が4つあり、ご紹介させていただきます。

1 管球・検出器が二組装備されているので超高速撮影が可能になります。

通常は1つの検出器が回転することで画像を作成するのですが、2つ(128列x2管球)で分担して撮影するので、約半分の時間で撮影ができます。非常に短い時間(0.07秒/一枚)で撮影でき、心臓などの動く臓器や息を止められない子供さん、具合の悪い患者さんでも安定した撮影ができるので、今までは画像がぶれて診断に迷うような時でも良好な検査ができるようになります。

2 様々な被曝低減対策がとられています。

電圧を下げて撮影する低電圧撮影が可能になります。被曝低減ならびに造影剤の造影効果を増強することが可能になります。また特殊なフィルターを検出器のX線コリメーターに採用することで、少ないX線で綺麗な画像を作成することが可能になります。

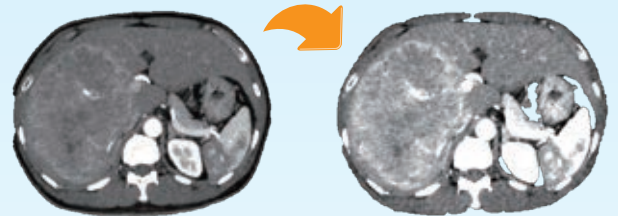
3 Dual Energy撮影ができます。

通常は1種類の(電圧の)X線で画像を作成するのですが、2種類のX線を使用することで今まではできなかった様々な画像情報を得ることができます。

●造影剤の効果を2~3倍に高めることができます

腎臓の機能が低下している方には少ない造影剤で造影CTが可能になります。血管が細くて急速な造影剤投与ができない方には細い針で造影剤注入ができます。造影剤を注射中に血管が破れて予定の半分しか注入できなかった場合や、造影中に気分不良となり撮影中断したため造影効果が高い時間に撮影できなかった場合でもコンピューター処理で造影効果を高めて良好な画像を作成できます。

また今までは造影効果が乏しく評価が難しい事が多かった肺塞栓や下肢静脈血栓、腫瘍濃染の評価などにも威力を発揮します。



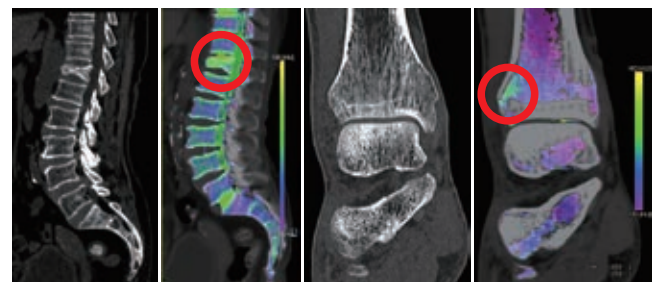
(図: 通常の120kVpのCTの画像(左)を40KeVの仮想単色画像(右)に処理すると造影効果が約3倍になります)

●造影剤を用いた画像から造影剤を使用する前の画像が作成できます

被曝低減のために造影剤を使用する前のCTを省略した時に急に造影前画像が必要となった場合も、コンピューター処理で造影剤投与前の画像が仮想で作成することができます。

●骨髄の浮腫を評価できます

レントゲン写真やCTで見つけにくい微妙な骨折(いわゆるヒビ)はMRIで骨髄浮腫を同定することで確認する必要がありましたが、Dual Energy CTでは骨髄内の浮腫を描出することが可能になります。高齢者で脊椎骨折があった場合、骨髄浮腫が残る新しい骨折か、骨髄浮腫の消えた古い骨折かをCTで評価することができます。また高齢者で多い大腿骨頸部骨折もレントゲンや通常のCTで判断に悩む症例でも骨髄浮腫を描出することで確認できるようになります。



(図: 第12胸椎の圧迫骨折に緑色で表示される骨髄浮腫が認められるので新しい骨折と判断できます。通常のCTでは脛骨に異常を認めませんが、緑色に描出される骨髄浮腫が認められるので骨挫傷と診断できます)

SOMATOM Drive



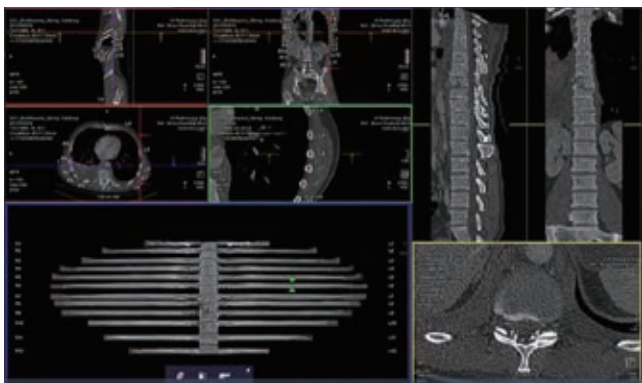
今まではMRI撮影が難しかったペースメーカーを留置されている患者さんでも威力を発揮します。

4 新しい画像処理専用コンピューターソフト (Syngo.via) で診療が効率化されます。

PET・CTのみで使用していたSyngo.viaをCTでも活用することで、今までに無い画像を作成することができます。

●CTボーンリーディング

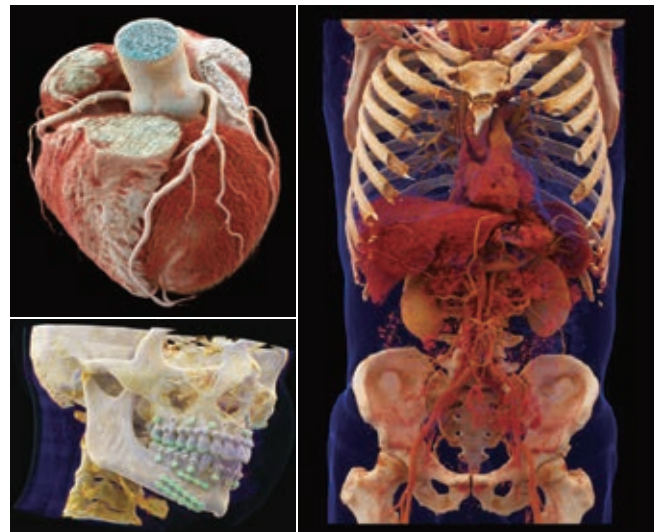
全身外傷では思いもかけない部位に骨折があったり、肋骨や脊椎などたくさん並んでいる骨のどの部位に骨折があるか評価するためには非常に時間がかかりましたが、このソフトでは脊椎や肋骨に番号が自動で表示され、さらに肋骨を「魚の開き」のように展開できるので、骨折の画像評価の時間短縮、精度向上が期待されます。



(図：脊椎、肋骨に自動的に番号が振られ、肋骨が広がった画像が作成されます)

●シネマティックVRT

よりリアルな3D画像作成が可能になります。患者さんへの説明や手術前のシミュレーションに役立つ画像が提供できます。



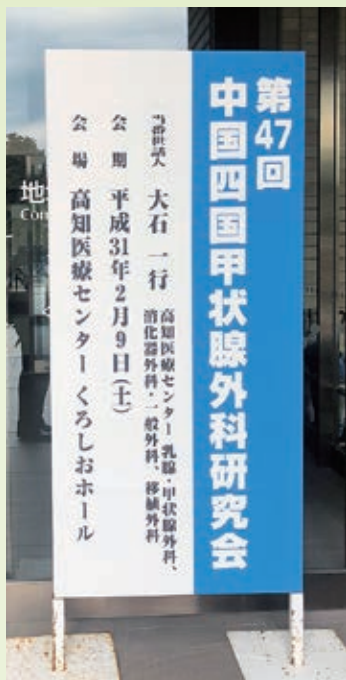
(図：非常に鮮やかな3D画像が作成できます)

以上のような新たなCT画像提供を通して皆さまの診療にお役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

第47回

中国四国甲状腺

本研究会は、中国四国地方の甲状腺、副甲状腺の外科に関する研究ならびに臨床の振興を図り、併せて会員相互の親睦を図ることを目的とし、昭和48年に岡山県で第1回研究会が開催されました。現在では、中国四国地方の甲状腺外科に携わる外科医と耳鼻科医を中心に約120名で構成され、中国四国各県で当番制のもと毎年開催されています。過去46回にわたり有意義な研究会が開催され、学術、交流および若手育成の観点から中国四国地方の甲状腺、副甲状腺外科のレベルアップに貢献しており、さらには甲状腺、副甲状腺疾患を持つ患者さんへの最新の診療提供へとつながっています。



この度、第47回となる中国四国甲状腺外科研究会を平成31年2月9日(土)に当院くろしおホールにて開催させていただきました。甲状腺癌の化学療法についてはこれまであまり有効な薬剤がなく低迷期でしたが、近年分子標的薬の登場とともに、治療の選択肢が大きく広がりました。しかし

ながら治療の原点は手術による局所治療であり、臆することなく果敢に切除に臨む一方で、確実な安全を保障する必要があり、そこには知と技が欠かせません。そこで今回の主題は

1. 甲状腺手術における副甲状腺温存と自家移植の工夫
2. 甲状腺手術における合併症予防と対策としました。

最終的に38題の演題が集まり、75名の医師に参加いただきました。ランチオンセミナーでは、甲状腺外科で有名な福岡のやました甲状腺病院の山下弘幸先生をお招きして「甲状腺手術における合併症予防と対策」というタイトルでご講演を賜りました。研究会の中では沢山の議論が交わされ、明日からの診療に直結する知と技を共有することができたと思います。

甲状腺という分野は比較的マイナー領域と認識されています。最近でこそ専門医制度ができたことから専門的に修練する機会が得られるようになりましたが、それまでは外科医が片手間で手術を行っていたように思います。実際私が甲状腺に関わり始めた際にも、勉強しようにも専門医が県内におらず、認定施設(専門医を取得することができる施設)も県内に存在しませんでした。そのため一度高知医療センターを退職し、甲状腺外科のメッカとされる別府の野口病院で外科の修行を積み、甲状腺内科で有名な熊本の田尻クリニックで内科疾患を勉強し、その後再び復職したという経緯があります。現在高知県には内分泌外科専門医(旧甲状腺外科専門医)は私1人で、認定施設も当院のみとなっています。これまでは高知県内の甲状腺疾患をもつ患者さんは専門性を求めて九州や神戸の病院を受診することが多かったようですが、ようやく県内で甲状腺専門施設と同等の医療を提供することができるようになり、当院を受診される患者さんが増えてきていると感じます。

その一方で甲状腺疾患を専門にしたい(外科も内科も)という若手医師は一向に増えていません。特に甲状腺外科に関しては、外科医自体が減少傾向にある現実があることからあまり期待できない状況です。甲状腺はとても小さい臓器でそれほど魅力がないと思いがちですが、周囲に重要組織が

外科研究会を開催して

乳腺・甲状腺外科、消化器外科・一般外科、移植外科 大石 一行

沢山詰まっております、手術の際にはとても繊細な操作が必要で、それを怠ると様々な合併症を引き起こすことになりますし、ときには大胆な操作が必要となることもあるので手術手技としてはとても魅力的だと思います。そういった甲状腺手術のやりがいを若手に伝えていくことも大切だと考えています。本研究会は全国大会と違って、中国四国地方の小規模な研究会で、ざっくばらんに意見交換できるため若手の育成に絶好の場であると認識しています。今回若手医師からの演題も多数あったので、これを機に甲状腺外科に興味を持ち、今後の中国四国地方で甲状腺外科医を目指す若手が出てくることを期待しています。

今回このような伝統ある研究会の世話人という貴重な経験をさせていただき、本当に感謝しています。準備こそ大変でしたが、研究会も盛会裏に終わり、参加者の皆さまより温かい言葉をいただきほっとしています。今後も引き続き高知県内の甲状腺外科診療に邁進しつつ、甲状腺外科専門の若手の育成に努めてまいりたいと思います。

最後に、今回座長を務めていただいた当院移植外科科長 澁谷祐一先生、発表をお願いした消化器外科・一般外科 高杉遥先生、谷岡信寿先生、準備段階より大変お世話になった乳甲状腺外科秘書 岡林まやさんに厚く感謝申し上げます。また、本研究会を開催するにあたり、多くの医療機関からの寄付と企業からの協賛をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



世話人：大石一行医師



座長：澁谷祐一医師



発表：高杉遥医師



発表：谷岡信寿医師

月	日	曜	高知医療センター イベント情報			
4月	8	月	高知医療センター新人看護師研修 他施設公開研修(参加費無料・申込要)			
			内容	スキンケア1	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3
			時間	9:00～11:00	対象	新人看護師(15名)
			講師	高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師		
	8	月	内容	弾性ストッキング	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3
			時間	11:00～12:00	対象	新人看護師(15名)
			講師	高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師/リンパ浮腫指導技術者		
	8	月	内容	口腔ケアの基礎 ※定員に達しました	場所	高知医療センター 1階 研修室2・3
			時間	13:00～15:00	対象	新人看護師(4名)
			講師	高知医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師		
	10	水	内容	食事介助と摂食・嚥下障害患者に対する援助 ※定員に達しました	場所	高知医療センター 2階 スキルズラボ室
			時間	13:30～16:30	対象	新人看護師(4名)
講師			高知医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師			
			申込用紙は当院ホームページ 看護師他施設公開研修よりダウンロードできます。必要事項をご記入の上 FAXにてお申し込みください。申込代表者は看護部門の担当者様でお願いいたします FAX:088(837)6766 お問合せ:高知医療センター 看護局 教育担当(有澤・藤本・川田) TEL:088(837)3000(代)			

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

紹介用画像 DVD ビューア変更のお知らせ

3月11日より当院で作成される
DVD内のビューアがEFILMビューアから
PSPビューアへ変更になりました。
これにより内視鏡画像や超音波画像を
DICOM形式で提供することが
可能になりました。

操作等につきましては
DVD内の
オンラインマニュアルで
ご確認をお願い
いたします。



◇ご不明な点につきましては下記までお問合せください
高知医療センター 医療技術局 大野
TEL:088-837-3000(代)

編集後記

この4月30日で「平成」という時代が終わります。昭和天皇が昭和64年(1989年)1月7日に崩御され、同日、小淵恵三官房長官が「平成」と書かれた台紙を掲げて新元号を発表する様子を、私はいまも鮮明に記憶しています。最近もテレビで新元号の話題になると、その時の映像がよく流されていますね。元号は「古典から、抽象的で縁起の良い漢字2字が採用される」とのことですが、次の元号はどうなるのでしょうか?安倍首相が「新元号は4月1日に公表」と表明しましたので、この「にじ4月号」を手にした時には明らかになっていることでしょう。「平成」が発表された時は、天皇崩御で国民の気持ちは沈んでいましたが、今回は、天皇陛下もご健在で、譲位にともなう改元ですから、「これから新たな時代を生きるんだ!」と、明るく前向きに気持ちを切りかえられそうな気がします。(広報委員 中村)



平成31年4月1日発行
にじ4月号(第162号)
毎月発行
編集者:広報委員会
発行者:島田 安博
印刷:株式会社 高陽堂印刷

発行元:
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL:088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp